磯津・吉崎沖に人工干潟？

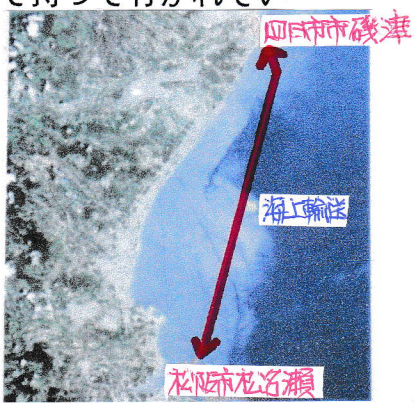
8 月になってから、ウミガメの産卵したすぐ前で大きな石油掘削のような作業船が係留され、何か作業をしています。工事の説明板によると干潟をつくっているようです。そう言えば台風の後も赤い旗が立っていましたし、沖にもよく見ると赤いブイが浮いています。

この工事の目的はインターネットで見ると

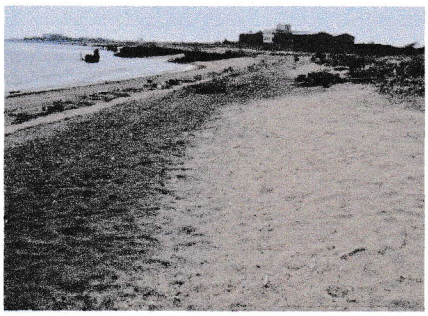
1.事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	磯津地区海岸　国補海岸高潮対策工事
(2)目的	磯津地区海岸では、海岸の侵食が著しく進んでおり、台風による異常波浪や浜の減少が原因となる越波等の被害の恐れが生じており、海岸保全施設の整備要望が強い箇所である。 整備方法については、「防護」「環境」「利用」が調和した海岸の保全と海岸事業の効率性・透明性等を図ることを目的に平成 14 年度に策定された三重県海岸整備アクションプログラムにおける磯津地区海岸の位置付けを踏まえた検討を行った。 三重県海岸整備アクションプログラムにおいて磯津地区海岸は、防護・環境・利用の現況、アンケートから自然環境の保全・復元も考えた整備を行う「環境維持海岸」に分類され、離岸堤＋養浜が計画されおり、計画に基づいた整備を行う。 また、既設堤防が老朽化しているため、堤防補強を行う。さらに地質調査の結果、磯津地区海岸の地質は液状化の恐れがあるため地盤改良工も併せて施工する。
(3)事業主体	北勢県民局　四日市建設部

ちょっと待って。確かにブイのあるあたりにトンバッグのようなものを沈めて砂が流出しないようにしているらしいけど、この工事の成功率はどうなんだろう。目的にも書いているように海岸の砂はかなりの速さで持って行かれている現状でどこまで耐えられるか。



砂は櫛田川河口から台船で運んでいますが、そこで豊富なアサリの稚貝などもいっしょに運んで磯津でも増えることを期待もしているようです。離岸堤も含め今回の工事はすでに平成 17 年には環境配慮検討書が出され、着々と進められています。しかし、上の目的の最後の文「液状化」対策はどう総合的に進められるかは分かりません。



居合わせた漁師の方が「あんなもん、土建業者を儲けさせるだけや」と切って捨てるように言われたのが耳に残ります。左写真、色の黒い砂がこの台風で打ち上げられた櫛田川・松名瀬沖の砂です。この奥は処理場建設で埋立が決まっています。人間が考えているほど自然の営みは生やさしいものではないように思います。